



コンクリート混和剤用ポリマー「アクアロック」 プラント増設（於 川崎製造所）

株式会社日本触媒（本社：大阪府中央区、社長：池田全徳）は、需要の増加を見込み、コンクリート混和剤用ポリマー「アクアロック」（ポリカルボン酸系ポリマー）プラントの増設を決定致しました（下記参照）。

「アクアロック」は、日本触媒が独自に開発したポリカルボン酸系ポリマーであり、現在、川崎、姫路、中国、米国の4拠点にて合計8.5万トンの生産能力を有しています。

世界のセメント需要は30億トンに達していると考えられ、そのうちの約4分の3がアジア域内で消費されており、特に中国、インド、東南アジア諸国において著しく需要が増加しております。

今回の増設により、当社の総生産能力は世界で約10万トンとなります。今後も、独自のポリマー技術で開発したコストパフォーマンスに優れた製品で、他社と差別化を図ってまいります。

今回の増設内容

生産能力----- ポリカルボン酸系ポリマー 1.6万トン / 年
時期----- 2012年3月末完工、同年4月商業運転開始
場所----- 川崎製造所既存敷地内

<ご参考：当社の拠点別生産能力>（万トン/年）

	国内		米国	中国	合計
	川崎	姫路			
増設前	5	1	1	1.5	8.5
増設後	6.6	1	1	1.5	10.1

以上

【問い合わせ先】

株式会社日本触媒 IR・広報室
:03-3506-7477 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-2